

糖尿病重症化予防(フットケア)研修標準プログラムVer.4

平成20年6月2日作成 (Ver.1)
平成22年9月1日改定 (Ver.2)
平成28年7月1日改定 (Ver.3)
平成29年2月5日改定 (Ver.4)

目的 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と実践の技術を身につける

- 目標**
1. 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する
 2. 糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する
 3. 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ
 4. 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ
 5. 糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する
 6. 予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる

| 研修日 | テーマ | ねらい | 内容 |
|------------------------------|--|--|--|
| 1日目 | | | |
| 講義1 9時～10時 | 糖尿病患者の療養を支えるフットケア | 看護師が行う糖尿病患者への予防的フットケアは、一方的に患者の足のトラブルの有無をチェックし、必要な手当を提供するというだけではなく、患者の糖尿病や足の状態を捉え、共にセルフケア状況までも含めた評価(アセスメント)を行ったうえで、その患者に適したフットケアの方法を考え、継続的に実践していくセルフケア支援のプロセスである。このような糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する。 | 1. 糖尿病患者の足への関心 2. 足の状態を共通理解するための働きかけ 足を見る、足に触れるということ 足を見るのを促す 足に触れるのを促すということ 3. 足のケアを通して、患者の生活を理解する 4. 療養を支えるフットケア ～継続する大切さ～ 5. チーム医療における看護師が行うフットケアの意味 |
| 講義2 10時10分～12時10分 | 糖尿病患者の足病変 病態生理から治療まで | 糖尿病足病変、病態生理、治療、検査 について理解する | 1. 糖尿病足病変の病態生理 2. 糖尿病神経障害の検査 3. 血流障害の検査 4. 糖尿病足病変の治療 |
| 講義3 13時～14時30分 | 糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント① | 糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況を理解し、患者の足の状態と取り巻く状況を含めてリスクをアセスメントできる。 | 1. アセスメントとは 2. 記録用紙の使い方と意味 3. 糖尿病患者のハイリスク評価 4. 足の状態を捉える 皮膚の状態、神経障害 血流障害 生活状況 5. 全身状態を捉える 姿勢 歩き方 高血糖 低栄養 免疫力 6. セルフケア状況の把握 足への関心 フットケアに対する理解 足の問題に関する経験 生活習慣 サポートパーソン 7. 生活状況を捉える 足への負荷の状況—仕事 靴の選択 清潔習慣 |
| 演習1 14時40分～16時30分 | 糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント | 糖尿病患者へのフットケアにおける足の状態のアセスメント及び、足病変のリスク評価の技術を学ぶ | 1. デモンストレーション(研修担当) 2. 参加者がペアになり演習 ・姿勢、歩き方、足の外観を捉える、知覚・及び血流の状態、靴や靴下の観察 ・生活状況、足の手入れ状況の確認 ・フットケア記録用紙の活用 ・足の状態をアセスメントをする ・足病変のリスク評価をする |
| 講義4 16時40分～17時10分 | 糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント② | アセスメントの統合と足病変リスク評価に伴う課題抽出過程を理解する | アセスメントの統合 足病変のリスク評価 課題の抽出過程の解説 |
| 講義5 17時10分～18時40分 | フットケアの実際 予防のためのセルフケア支援 | 糖尿病患者がおかれている状況やリスクの評価を基に、その患者に適したセルフケア支援につながるフットケアの実践を学ぶ | 1. 予防のための方法 ・清潔を保つ ・感染を防ぐ ・蒸れを防ぐ ・圧迫、ずれを避ける 2. セルフケア支援のためのポイント |
| 演習2 18時40分～19時 | 事例分析と評価① | 事例を展開し、フットケア計画の立案につなげることができる | 事例の説明 |
| 2日目 | | | |
| 演習3 8時50分～11時10分 | フットケアの実際 予防のためのセルフケア支援 | 糖尿病患者へのフットケアの予防のためのセルフケア支援技術を経験し、身につける | 1. デモンストレーション (1)患者の足を観る・触れる (2)アセスメントをする (3)必要なケア内容を検討する (4)処置を行う ①ソルデの使用法 ②ニッパー・ヤスリによる爪のケア ③コーンカッターの使用法 ④レデューサーの使用法 ⑤保温 (5)セルフケアに向けての支援 2. 参加者がペアになり演習 |
| 演習4 11時20分～13時10分 110分 | 事例分析と評価 ②-アセスメントと問題点の抽出 | 足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する-アセスメントから問題点の抽出ができる | 事例検討(グループでディスカッションと全体討議) |
| 演習5 14時00分～15時50分 | 事例分析と評価 ③-ケア計画立案 | 足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する-看護問題から課題とフットケア方法を決定する | 事例検討(グループでディスカッションと全体討議) |
| 演習6 16時00分～16時40分 | 今後の糖尿病重症化予防(フットケア)の活動に向けて～自施設における今後のフットケア活動計画～ | 自施設において、フットケアを実践するための方略を考える | 自施設における今後のフットケア活動計画を立てる |
| 講義6 16時40分～17時40分 | 糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題 | 糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題を理解し、予防的フットケアを実践するためのチーム及びシステムづくりを考える | 1. 平成20年度診療報酬における糖尿病重症化予防(フットケア)の位置づけ 2. 予防的フットケアを実践するためのチーム医療及びシステムづくり |

テキスト:『糖尿病看護フットケア技術 第3版』, 日本糖尿病教育看護学会(編集), 日本看護協会出版会(2013年)